



型番：MA-5PRO-4C

取扱説明書



マーカラン用
4連/768W×2回路
全32パターン内蔵

仕様表	
電源	フリーボルテージDC12V~24V (バッテリー直流のみ)
最大出力 (24V使用時)	最大 768W × 2系統 (6W球を使用した場合、4連×2系統 合計 最大256個 相当) 1連 (1回路) あたり 最大192W まで。(6W球を使用した場合、約32個まで接続することができます。) * (DC12V使用時は、出力は半分の1/2になります。)
定格出力	終段 MOS-FET 60V/16A以上の素子×4段×2系統
実用最大出力	1段 (1回路) あたり、DC12V~24V / 8A
入出力	ランプ出力：8本 (4本 (4回路) × 2系統) / 電源：+、- (プラス：赤、マイナス：黒)
保護回路	各段ごとに、ガラス管ヒューズ内蔵
外形寸法	幅約170mm × 高さ約50mm × 奥行約120mm (コード、スイッチ、ボリュームなどの突起物は含まず。)
本体重量	約670g
点滅パターン数	基本：全32パターン (シングル16パターン×2グループ/切替可。)
点滅効果	フラッシュモード (トグルスイッチで、ON/OFF可。)
	ポーズ (一時停止) / ノーマル・スロー (トグルスイッチで、切替可。)
点滅スピード	ボリュームタイプ (無段階調整可)

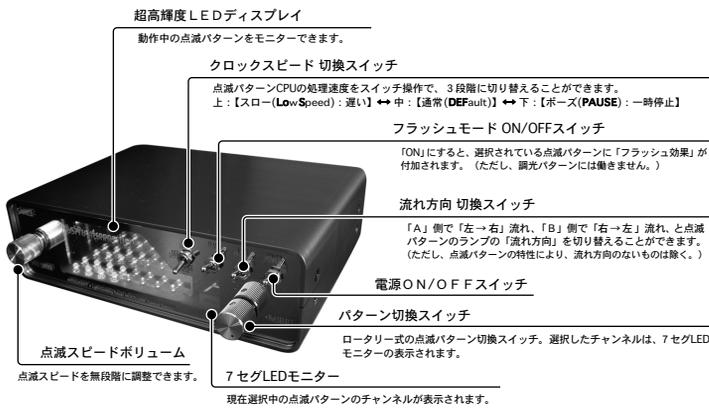
本機の仕様は、性能向上・改善のため、予告なく変更することがあります。ご了承ください。

この度は、マーカランプリレー [マーゴ・プロ・フォー・コネクション] をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に、本書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、この取扱説明書は大切に保管し、必要になった時、繰り返しお読みください。

本機をご使用になる前に

- 車輛の仕様 (強力な無線機をご使用にあってはいる場合や、車輛に特殊な配線がされている場合など) により、本機をご使用いただけない場合がございます。あらかじめ、電装系に精通している取り付け販売店にご相談ください。
- 本機は、お客様自身の責任においてご使用ください。本機の仕様によって、直接的、または、間接的に引き起こされた損失、あるいは、その他の問題に対して、弊社では、いかなる責任も負いかねます。
- 事故を未然に防ぐために、取扱説明書をよく読み、安全、確実に作業を行ってください。

本体各部の名称と使い方



© SAMe's Co., Ltd. All Rights Reserved. Manufacturing and Printed in JAPAN.

取り付け、使用時のご注意

取り付けは、電気の知識に基づいた正確な作業をお願いします。誤った配線、取り扱いにおいて生じた故障などはご購入からの期間の長短問わず、有償修理となりますので十分にご注意ください。
個人でお取り付けになる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

お手入れについて

長くお使いいただくため、定期的に配線などのチェックをしてください。本体の汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布をひたし、良く絞ってから、汚れを拭き取り、乾いた布で拭き上げてください。本体前部のミラーパネルは、傷つきやすいため、メカネ拭きなどの繊維の細かい布で拭いてください。目の指い布はパネルに傷がつく恐れがあります。また、ペンジンやシンナーなどの薬液は、変質したり、塗装が溶解、剥離する恐れがありますので、絶対に使用しないでください。お手入れの際には、安全のため、必ず、電源コードを外してください。

水や異物を入れない

本機に、水や異物が入らないようにご注意ください。お手入れの際なども、安全のため、十分に注意してください。

ご使用前の点検について

本機を設置し、使用する際には、定期的に、本体・ケーブル・ランプ配線などに傷みやショート、接続箇所異常が見られないかなど、しっかりと点検してください。異常が見られたり、ヒューズが切れたりする場合は、電源を入らずに異常を点検してください。

異常が発生したときは

万が一、変な音や臭い、煙や炎が出た場合は、直ちに使用をやめ、適切な処置を行った上で、お取り付けの販売店にご相談ください。異常を放置したまま使用を続けると、リレー本体だけでなく、車輛にも損傷を与える恐れがあります。

分解・改造禁止

本機を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電、故障、事故などの原因になります。分解が必要があるときは、お取り付けの販売店、または弊社までご相談ください。

規定内の電気で使用してください

本機で使用できる電源は、DC12V~24V (フリーボルテージ/直流のみ) 専用です。12V~24Vまでの間であれば使用できますが、規定外の電気で使用できません。DCDCコンバータ (デココ) やバッテリー充電器などの変圧・変換器から出力される電圧・変換器から出力される電圧、家庭用ACコンセントは使用できません。そのほか、交流成分が混じった電圧なども使用できません。故障や感電、火災の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

(MS-SPC-04-2504 (R.18.0))

点滅パターンの変えかた (変更・切替)

点滅パターンを変えたいときは、以下の手順でスイッチを操作してください。

例) Bグループの「2 (ch)」3点の流れ (3点1消) を選びたい場合。

- 1 右から2つ目の「ch.SEL」スイッチを【B】側に入れます。「ch.SEL」スイッチの上下で【点滅パターン】グループの切替が行えます。



- 2 ロータリースイッチを【2】が表示されるまで回します。スイッチを回すと、つまみの横の「7セグLEDモニタ」に、チャンネル番号が表示されます。

■内蔵点滅パターン表

ch	Aグループの点滅パターン	ch	Bグループの点滅パターン
0	1点の流れ (1点(灯)/3消(灯))	0	1点の流れ (1点(灯)/3消(灯))
1	2点の流れ (2点2消)	1	2点の流れ (2点2消)
2	3点の流れ (3点1消)	2	3点の流れ (3点1消)
3	1点 積み重ね 流れ	3	1点 積み重ね 流れ
4	1点 ナイトライダー (左右往復/移動の流れ)	4	2点 ナイトライダー (左右往復/移動の流れ)
5	点き足し 点き引き (追っかけ)	5	点き足し 点き引き (追っかけ)
6	2点 交互点滅	6	交互点滅とB/ch5の組み合わせ
7	1点&3点 流れ	7	1点&3点 流れ
8	2点 交互 流れ	8	2点 交互 流れ
9	交互調光 (タイプA)	9	交互調光 (タイプB)
A	セミオート (Aのch0 + Bのch0)	A	セミオート (Bのch5 + Aのch5)
B	セミオート (Aのch1 + Bのch1)	B	セミオート (Bのch6 + 交互調光)
C	セミオート (Aのch2 + Bのch2)	C	セミオート (Bのch7 + Aのch7)
D	セミオート (Aのch3 + Bのch3)	D	セミオート (Bのch8 + Aのch8)
E	フルオート (Aのch0~9)	E	フルオート (Bのch0~9)
F	全点灯/フラッシュ	F	ミックスオート (Bのch0・3・4・5と交互調光)

* 基本的には、「A」グループは「左(前から) → 右(うしろ)」へ向かって流れるパターン。「B」グループは「右(うしろから) → 左(前)」へ向かって流れるパターンを中心に構成されています。(配線を順手(車輛をキャビンを見ながら)を左手に見て、ランプを並べている状態。)で行なっている場合。)
ただし、点滅パターンの特性上、「流れ方向の概念ない」ものや、自動で「流れ方向が反転する」ものはあります。

フラッシュモードの切替

選択中の点滅パターンに「フラッシング効果」を加えることができます。

- 1 右から3つ目の「FLASH」スイッチを【ON】側に入れます。

スイッチを上げると「ON」、下げると「OFF」になります。各点滅パターンに「フラッシング効果」(速いスピードの明滅効果)を与えます。但し、調光などの特殊効果のパターンには働きません。



メイン動作スピードの切替

本機は、内蔵CPUの動作速度 (クロック) を3段階に切り替えることができます。細かな点滅スピードは、本体左のボリュームで調整します。

- 1 「動作スピード切替スイッチ」を操作します。

本体内蔵コンピュータの動作速度を切り替えることで、点滅スピードなどを大きく変化させることができます。スイッチを上げると「スロー」(遅い)、真ん中で「通常」。下げると「一時停止」状態になります。細かな調整は、「点滅スピード調整ボリューム」で行ないます。



- 2 点滅スピードの微調整は

「点滅スピード調整ボリューム」で調整します。アナログ式のボリュームで、点滅スピードを無段階に調整できます。

* 写真撮影などに便利ですが、全点灯状態などで、長時間PAUSE状態を続けると、本体に負担が掛かり、異常発熱などの原因になりますので使用には十分に注意してください。

